

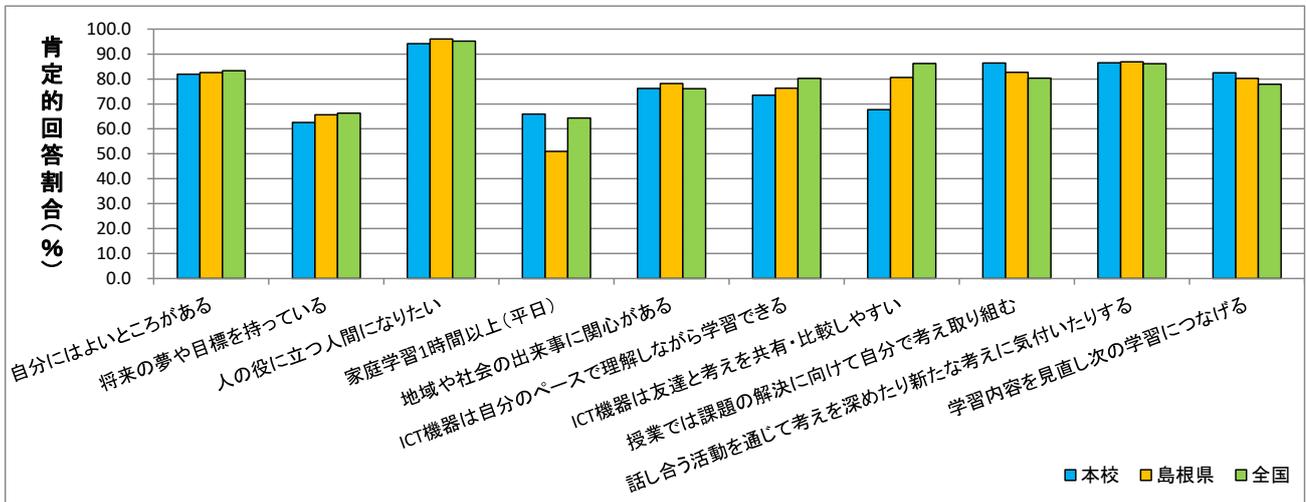
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策(・)
国語	○具体と抽象の関係を正しく読み取ることができる。 ○文章の全体と部分の関係に注目し、主張と例示の結びつきを捉えることができる。 ●問題文の指定を読み落とすことがある。 ●文の組み立ての理解が曖昧である。 ●文語で書かれた文章(古文や韻文)の読解が難しい。	・ワークやテストの解説を通して、問題文の細部まで確実に読むことを指導する。 ・文法事項の復習を行う。 ・古文の基礎の復習を行う。
数学	○問題場面を明確に捉えて計算することができる。 ●複数の箱ひげ図から読み取れる傾向とその理由を数学的表現を用いて説明することに課題がある。 ●形式的な証明の方法を理解していても、証明の必要性や意味を理解することに課題がある。	・データ分析の比較の読み取りや考察して判断する活動を充実させる。 ・証明するときに見通しをもち、わかっていることや根拠を確認し合う活動を充実させる。

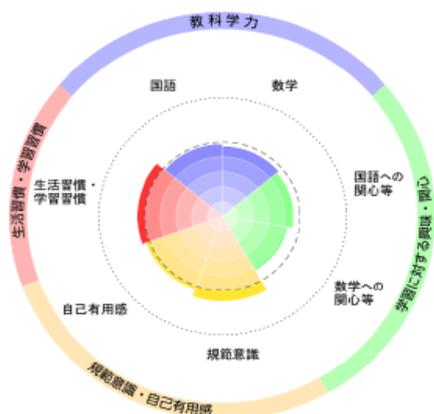
(2) 質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対策(・)
質問紙	○学習した内容について、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている生徒が比較的多い。課題解決に向けて自分で考え取り組むことができる。 ●友達と考えを比較するときのICT活用について課題がある。	・授業において、友だちと考えを共有・比較するために効果的なICT機器の活用方法を工夫する。

(3) 質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4) 学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・ICTについてはさらに効果的な活用ができるように、校内研修や教科部会等を通して授業改善を図る。
 ・個別最適な学びに活用されるようにタブレットを活用する。

【受検者数】

156 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。